

まちの話題

いつまでもお元気で！ 市内最高齢者を市長が訪問

9月15日(水)、野田侃生市長が市内の男女それぞれの最高齢者を訪問し、長寿を祝い、お二人に祝い状と記念品を贈りました。

市内の最高齢者は、武蔵町糸原の滝口カズエさん(105歳)で、男性の最高齢者は、国東町来浦の猪俣基礎さん(103歳)です。



▲滝口カズエさん



▲9月20日(月)長野区敬老会に出席した猪俣基礎さん

国見町赤根の古幡社で「善神王祭り」

9月10日(金)、国見町赤根の古幡社で五穀豊穡を祈願して約200年以上前から伝わる「善神王祭り」が行われました。

神楽の奉納の後、長さ約9メートル、重さ1トン以上の大松明に火がつけられ、長い竹竿を持った地区の皆さんが掛け声に合わせて約30分かけて大松明を垂直に立ち上げると、大きな拍手がわき起こりました。



大分空港「空の日」イベント

9月11日(土)、大分空港で「空の日」イベントが開催されました。

セスナ機遊覧飛行や管制塔見学、空港内バスツアーなど普段は体験できないイベントに多くの家族連れでにぎわいました。



第11回九州瀬戸内 高等学校女子駅伝競走大会

第11回九州瀬戸内高等学校女子駅伝大会が、9月26日(日)、九州と瀬戸内の各県から32チームの参加で開催されました。大会は市役所安岐総合支所前をスタート・フィニッシュとする5区間

21.0975 kmで競われ、鹿児島県の神村学園高等部が2連覇を果たしました。



第2回両子谷まんぷく祭

9月12日(日)、安岐町の梅園の里、両子寺、瑠璃光寺、両子河原座の4施設が合同で地域を盛り上げようと「第2回両子谷まんぷく祭」が開催されました。

梅園の里では、ダンスや神楽などの子ども芸能や猪囃し絶叫大会が行われました。また、昼食にはイノシシ肉を使った大鍋が用意され、来場者に無料で振舞われました。

